

第9回竜王町総合計画審議会 会議録

日時：令和3年2月17日（水）19：00～21：20

場所：竜王町防災センター 2階大会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

- ・第六次竜王町総合計画（案）について
- ・第六次竜王町総合計画基本構想（案）に対する答申について

4 答申

5 その他

- ・今後の予定

6 閉 会

【出席委員】

市岡、井手、北村、瀧川、谷、谷口、谷村、西村悠哉、西村三代司、松瀬、森島、石橋、吉田

【欠席委員】

勝見、竹井

※敬称略、順不同

1 開会

事 務 局：こんばんは。第9回竜王町総合計画審議会を始めます。前回の意見を反映して計画案をまとめましたのでご確認いただき、後半には答申をまとめていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

2 挨拶

事 務 局：杼木副町長よりご挨拶いたします。

副 町 長：こんばんは。毎週、ご出席いただきありがとうございます。2月15日には議会にも報告し、意見をもらっています。引き続きよろしくお願いします。先日、大きな地震がありましたが、10年前からお付き合いがある新地町では震度6強とのことで、

連絡して支援できることを確認し、ブルーシートなどを送りました。精神的なダメージへのケアも心配とのことでこれからもできる範囲で支援していきます。まちづくりにおいては、かがみの里の横の土地を町が取得し、北部地域の拠点として地域活性化につながるものを整備していく予定です。本日もよろしくお願いします。

事務局：ありがとうございます。続きまして、西村会長からご挨拶いただきます。

会長：こんばんは。第9回目、大変寒い中、出席いただきありがとうございます。本日は、前半は総合計画案の確認、後半は答申について検討します。いろいろな意見をいただき、おかげで答申できると思っています。あらためて感謝します。

事務局：勝見委員、竹井委員は欠席です。それでは議事に移ります。進行は会長をお願いします。

3 議事

総合計画（案）について

【事務局より、資料1、2に基づき説明した】

会長：前回までの意見を取り入れていただいていると思います。ご意見・ご質問がありましたらお願いします。

吉田委員：施策のターゲットについて、「生産」の15～64歳というと、説明にある子育て、仕事という表現と違和感があります。

事務局：統計上の生産年齢人口は15～64歳となっています。

吉田委員：年齢を明記してしまうのはいかななものでしょうか。

事務局：後段のみとし、年齢で区切る説明は削除します。

副町長：そうすると「生産」というニュアンスが変わっても良いかもしれません。

事務局：第五次竜王町総合計画では「子育て・働き盛り世代」としていました。文言はもう少し考えたいと思います。

谷委員：ジュニアとかシニアという表現で良いかもしれません。

事務局：イメージがわくような言葉にしたいと思います。

会 長：「町外」という言葉もわかりづらいかもしれません。

事 務 局：今回から追加しました。外向きの施策も実施していきたいという想いです。

谷 委 員：資料１の３つの分野の説明で、豊かさ、やさしさは「～の創造」となっていますが、つながりだけ表現が違ってきます。

事 務 局：「創造」で揃えるようにします。

森島委員：魅力の発信をもっとどんどんやっていく方が良いと思います。竜王町に住んでいる人も注目されるとうれしいし、町外の人も住んでみようと思えるようになります。広報担当部署の設置を期待します。また、ホームページアクセス数についてはもっと考えて方が良いと思います。桁違いに変わっていく可能性もあります。

事 務 局：広報も未来創造課が担当しています。年４回定例記者会見を実施しており、また各課に情報発信担当者を置く予定です。

谷 委 員：Ｊアラートなど国とも連携して情報を発信しますというと住民は安心すると思います。ツイッターなどはしていないのですか。

事 務 局：しるみる竜王による発信を増やしていきたいと思います。ＳＮＳは公式のものは実施していません。議会についてはYouTubeで配信する予定です。

谷 委 員：町長が発信してもよいと思います。情報は早い方が良いと思います。

事 務 局：公式のＳＮＳの活用について、検討していく必要があります。

副 町 長：全体的にもう少し新しい要素を入れても良いと思います。

北村委員：全国いろいろなところで竜王町といってもわかってもらえません。先日、たまたまラッピングトラックを見かけました。ステッカーを町民に車に貼ってもらって、ＱＲコードをつけるなどしたら町外の人にも知ってもらえる機会が増えると思います。

瀧川委員：近江うし丸について、弟が誕生することや、衣装替えをしても良いかもしれません。キャラクターにＳＮＳを発信してもらっても良いかもしれません。

事 務 局：多様なツールを使って発信することを前向きに考えていきたいと思います。

谷口委員：総合計画を紹介するキャラクターがあっても良いかもしれません。

谷 委 員：近江うし丸は町のキャラクターではありませんよね。

事 務 局：道の駅の公式キャラクターです。

北村委員：子ども会連合会でキャラクターをつくろうとしています。

副 町 長：近江うし丸には町の観光大使を任命しています。

谷村委員：SNSも大事ですが、ダイハツなどの従業員への地域の祭り等のPRができないでしょうか。昼間人口へのPRが大切だと思います。

事 務 局：関係人口、昼間人口も大事になってきますので、観光PRや特産品販売等も検討が必要です。

石橋委員：組合を通じた紹介はあります。

副 町 長：企業が多いのは竜王町の強みだと思います。

石橋委員：若い人をターゲットにした方が良いと思います。

谷 委 員：しるみる竜王もダイハツの人にダウンロードしてもらおうと良いと思います。

石橋委員：評価、検証は毎年度庁内で実施するだけでしょうか。

事 務 局：行政で実施した評価、検証結果について審議会に報告します。

石橋委員：全部PDCAを回すことができるのでしょうか。

事 務 局：実施計画をつくっていきます。

石橋委員：DOまで時間がかかってしまうのではないのでしょうか。OODAループというショートサイクルのマネジメントがあります。すべてプランをつくらずに実施するという考え方もできます。

副 町 長：現実にはPDCAをまわしていくのは難しい面もあります。

石橋委員：強弱があっても良いと思います。96 ページには男女共同参画とありますが、性的マイノリティは含まれているのでしょうか。

事務局：人権という視点ではLGBTに関する内容も必要です。人権セミナーでもテーマとしています。

井手委員：大学でも議論があります。男女共同参画という言葉については法律もあるので、内容としてジェンダー平等ということを入れても良いかもしれません。先ほどのマネジメントについてですが、行政では計画がまずないと予算も事業も起こせないという宿命があります。もう少し柔軟にできる進行管理の仕組みがあると良いと思います。Actionが次期計画策定となると、早くても5年後となってしまいます。

事務局：議会でも意見がありました。基本計画を5年で作っていますが、技術の進歩などから、5年後の仕事のやり方が見えないのが現状です。毎年仕事のやり方を見直していく必要があります。

松瀬委員：10年後に今回の計画の結果がでます。11,000人以上を維持できれば達成したということになります。アンケートをみるとまちの人は便利さを求めています、便利さに直結したり、若者が住みたいと思える施策が見えると良いと思います。この施策だけは外せないというものを重点的にやっていくべきです。そこに絞ってPDCAを回してはどうでしょうか。

副町長：概要版を町民に示す予定をしていますが、ポイントについてわかりやすく工夫していきます。

会長：貴重なご意見をいただきました。次の検討事項について事務局から説明をお願いします。

【事務局より、資料3に基づき説明した】

副町長：最終段階にはなりますが、町長含めて再度庁内で検討し、竜王町としてもっと伸びていきたいという想いと、「竜」という言葉をいれたいということです。「若人」については竜王中学校の校歌にも、青年団の機関紙にも使われています。

会長：将来像についてはこれまでも検討していきましたが、今説明のあった想いも含めて、4案示されています。

谷口委員：若い人にとって、「若者」と「若人」どちらがピンとくるのでしょうか。

西村悠委員：どちらかというと「若者」の方がピンとくるのではないのでしょうか。

石橋委員：計画案で「●●」となっていたので、それぞれが考えるということかと思いました。

会 長：これまでの議論では「若者」だったと思いますが。

瀧川委員：「若者」と書いて「わかいもん」としてはどうでしょうか。

谷村委員：ふりがなはいるのですか。

事務局：子どもでも読めるようにしたいと思います。

谷村委員：読み方は決めなければいけないのですか。

副 町 長：公式の場では読み上げることになるので決めなければいけません。

瀧川委員：竜王町に住んでいる人には「若人」もよいかもしれませんが、町外からみると伝わらないと思うので、解説が必要だと思います。

石橋委員：70 歳の人から見れば 50 歳でも「若者」。「若人」は 20 代のイメージです。

松瀬委員：なぜ？となる方がよいかもしれませんが、シンプルな方がよいと思います。

谷村委員：こじつけに感じます。竜王の郷ではだめですか。

谷口委員：唐突に感じるかもしれませんが、竜王町が使うのであればマッチしていると思います。昇竜の方が全国的に通用する言葉だと思います。

森島委員：「●●の郷」の部分はこうありたいという姿を表さないといけません。「麗しの郷」であればなんとなく意味合いがわかりますが、この案では竜王町の人しかわかりません。外から来てもらおうとしている中でこれでは伝わらないと思います。

谷口委員：昇竜は動きがある動的な表現です。それがどんなまちなのかが計画に入っていることが大事だと思います。

谷 委 員：キャッチコピーについてはわかりやすさもありますが、「ん？」と思わせるものもあります。

会 長：「若者」、「若人」では「若者」で良いでしょうか。後ろの文言についてはどうでしょうか。

吉田委員：「勢いよく上昇する」というのは古い考え方だと思います。時代についていくのは当たり前で、心を開いて誰でも受け入れられるまちという姿勢をめざしていくのが良いと思います。

井手委員：右肩上がりという時代ではなく、竜王町の生き残りをかけた計画として、輝竜という言葉でも良いかもしれません。

谷 委 員：群馬県の桐生市をイメージしてしまうかもしれません。

谷口委員：意味を考えてもらうチャンスになるかもしれません。

市岡委員：「誰もがきらりと輝く」という想いが良いと思います。

瀧川委員：きりゅう（気流）という発音にしてはどうですか。

谷口委員：説明文の「子ども、女性、若者・・・」という順番は再考をお願いします。

会 長：「輝竜の郷」の方が町民にとって親しみのある文言かと思います。よろしいでしょうか。

一 同：異議なし

会 長：ありがとうございます。

副 町 長：町外の若者を引っ張ってくるためにはわかりにくいという点も確認させていただきました。竜王中学校では輝竜祭として 10 年以上使っていますので、町内にいる若い人にも関心を持ってほしいという想いを込めて進めていきたいと思っています。

事 務 局：決定いただいた将来像を入れた答申案をまとめていきます。

会 長：それでは答申文について説明をお願いします。

【事務局より、答申文について説明した】

会 長：直すべきところがあれば、ご意見ををお願いします。

北村委員：2の部分について、発信という言葉が重なるので修正をすべきだと思います。

吉田委員：「この」こと、の「この」はいらないのではないですか。

事務局：修正します。

瀧川委員：「竜王町が直面する・・・」の文章が長すぎるのでどこかで切った方が読みやすいと思います。

谷口委員：文頭に「本計画案は」と入れて、「示しています」で一度切ったらどうでしょう。

井手委員：答申のタイトルが基本構想案についてとなっていますが。

事務局：基本構想の部分について答申をいただきたいと思います。

井手委員：計画案という表現が気になります。「本構想」とした方が良いのではないのでしょうか。

事務局：「構想案」に修正します。

北村委員：後半部分の「計画」についても構想にした方が良いですか。

井手委員：「この計画は」のところは「構想」にした方が良いと思います。

会長：ご意見を踏まえて修正してもらいました。これで答申させていただきたいと思います。

事務局：ありがとうございます。答申案についてまとめていただき、別日に会長から答申という形もありましたが、皆さんのいらっしゃる場でしたいと思います。

4 答申

【会長より、町長に答申した】

事務局：町長から挨拶をさせていただきます。

町長：こんばんは。寒い中、遅い時間までご議論いただき、答申をいただきましてありがとうございます。この審議会は令和元年12月からスタートし、コロナによる中断もありましたが、昨年10月から集中的に議論をいただき、改めて心からお礼申し上げます。竜王町にはたくさん優れたところ、美しい場所があります。そうした誇れるところを生かし、明るく元気で活力ある力強いまちを引き継いでいくことをめざしてまちづくりを進めていきたいと思います。今後、議会にも諮って10年間の構想としてまとめてまいります。将来像についてもこだわらせていただきましたが、多くの人に共感いただけるものにしていきたいと思います。少子高齢化、人口減少の中で、活力を維持していくため、住んで良かったと思っていただけるまちをつくるのが重要だと考えています。若い人がまちに活力を与えてくれると思っています。そ

れだけでなく全世代にわたって希望がかなえられるよう、「輝く」というのも良いタイトルであると思います。豊かさ、やさしさ、つながりに基づく各プロジェクト等についても計画策定に携わっていただきました皆さまには、まちづくりが進んでいるかどうか見届けをお願いしたいと思います。この計画の趣旨に合致するように、職員一同しっかりと行政運営、まちづくりを進めてまいります。本当にありがとうございました。

5 その他

事務局：今後の予定について、説明をします。

事務局：基本構想案について、総務産業建設常任委員会にて議論いただいた後、3月議会で議決をいただく予定です。基本計画については同時並行で検討し、さらなる充実を図っていきまして、構想の議決の後、審議会でも確認いただく機会を設けたいと思います。その後、計画冊子については印刷をする予定ですが、わかりやすくシンプルなものにしていきたいと考えています。進行管理については年1回集まっていたき、ご報告させていただきますので今後ともよろしくお願いいたします。

5 閉会

総務主監：遅い時間までありがとうございました。昨年10月から集中的にご無理をお願いしました。今後議会での承認をいただいて、10年間の計画のスタートとしていきたいと思います。将来像が実現できるよう進めていきたいと思いますので、今後とも、ご協力をお願いいたします。